

今改めて問う。被災地のトイレの実態!

官公庁
自治体
6000台以上
導入!

3.11東日本大震災で活躍したトイレとは?

被災時にあなたが使う事になる「自動ラップ式トイレ」

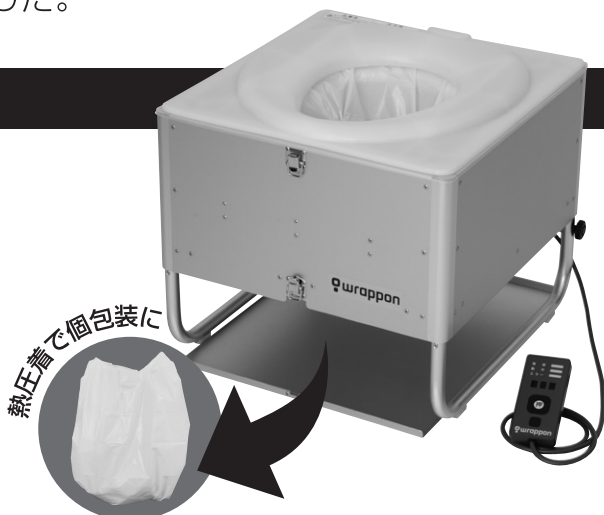
自動ラップ式トイレ「ラップポン」は水を使わず、熱圧着によって排出物を1回毎に自動で個包装(ラップ)にする災害用トイレです。

使い方は、専用凝固剤を投入し、用を足してボタンを押すだけ。後は自動で個包装(ラップ)にします。ラップに使うフィルムは特殊な5層構造の防臭フィルムで臭いや菌を漏らさないため、被災地での二次感染の予防に貢献しました。

東日本大震災でのトイレの実態と活躍

被災地ではライフラインが途絶えたため、水洗トイレは使えず、また、仮設トイレは汲取りが間に合わず、マンホールトイレもいっぱいに。紙オムツや新聞紙、手縛りの袋などで緊急対応することもあります。臭いが密閉できず、不特定多数の人が利用するため不衛生です。また汚物の保管場所も困難で臭いの原因にもなっていました。

ラップポンはその特性から屋外の仮設トイレの使用が困難な方々や下痢、嘔吐などの感染症が発生している避難所を中心に約150台設置されました。



組立てトランク型自動ラップ式トイレ

ラップポン・トレッカー2

支援活動の様子はYouTubeでご覧になれます。

YouTube

※DVDもお送りできます。
※その他写真素材等あります。

災害医療コーディネーターも認めたラップポン

石巻赤十字病院の外科医で県災害医療コーディネーターの石井正先生の著書【石巻災害医療の全記録】で東日本大震災時の医療支援でラップポンの事が掲載されています。

下記URLから掲載ページがダウンロードできます。
<http://wrappon.com/news/disaster/545/>



ポストクエイク・イノベーション・フォーラム(略称PIF)に展示されます。

高めよう日本の減災力。
ポスト3.11のイノベーション事例を見つめ直し、
これからの減災を考える。

日時: 3/7(金) 10:30~20:30
3/8(土) 10:30~15:15
会場: 日比谷図書館文化館大ホール
WEB: <http://pif.jp/>



TEDxKids@Chiyoda

【お問い合わせ先】

日本セイフティー株式会社 ラップポン事業部

ラップポンは
介護の現場でも

ラップポン
セイフティーコール **0120-208-718** URL: <http://www.wrappon.com> E-mail: kaigo@nihonsafety.com
Free Call **0120-208-718** 〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-11 イトピア小石川梅津ビル